

国際ロータリー第 2550 地区【栃木】 2022-2023 年度

ガバナー月信

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtube で
視聴できます。

YouTube

GOVERNOR'S
message

R .I.D 2550 tochigi

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.2
2022.08



contents

アイコンをクリックでそのページにとびます。



イマジン
ロータリー

01



02
Governor's
message

ガバナーメッセージ



03

強化月間委員長寄稿

04

地区委員長
紹介

05

地区クラブ
会長・幹事
紹介

06

ローターアクトクラブ
会長・幹事紹介

07

行事実施報告

09

主要行事予定

08

新入・物故会員

10

会員数報告

11

開催予定行事のご案内

12

地区組織図

13

コーディネーター NEWS

14

NEWS



15

Governor's
gallery

ガバナーギャラリー



My ROTARY - Rotary International



2022-23 年テーマ『イマジンロータリー』

ジェニファー・ジョーンズ会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。

4つの テスト

＜言行はこれに照らしてから＞

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



ガバナーメッセージ

さ ん き な お み ち

佐貫 直通

国際ロータリー第 2550 地区 2022-23 年度ガバナー
宇都宮陽東ロータリークラブ

2550 地区の皆様、こんにちは。今月は、ロータリーの『会員増強月間』です。ロータリークラブは、各クラブが主体で活動するのが基本と言われております。皆さんのクラブでは、ロータリーの仲間が増えているでしょうか？国際ロータリーは、「変革の時である」と伝えています。差別のない、公平・公正な方法で、多くのロータリーの友を入会させていただきませんか？



人種・性差などで差別のない活動をお願い致します。各ロータリークラブで、クラブの皆さんのご意見で、クラブの意向をお決め下さい。もし入会希望者や入会候補者が、自分のクラブでは例会日や時間などが合わない方なら、他クラブに紹介・推薦をお願いいたします。一人でも多く、ロータリアンになれる方の入会を促進してください。

ポール・ハリスは、「時代と共にロータリーは変わる」と語っています。現代は、多様性の時代です。性差・人種差などで差別のないロータリー活動をお願いいたします。入会候補の方は、ロータリアンとして相応しい方・ロータリアンになれる方をご推薦いただき、入会した折にはロータリーの友として快く向かえ入れ、一緒に奉仕活動をしていきませんか。

国際ロータリー会長・ジェニファー氏が語る「居心地のよいクラブ」で、みんなで楽しく活動していきましょう。

ロータリーの「四つのテスト」

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

に則って、皆さんのロータリークラブで「会員による会員のためのクラブ」を民主的に決め、会員の手で力を合わせて歩いていきませんか。「居心地のよいクラブ」は、ロータリー活動を活性化させます。「居心地のよいクラブ」は、楽しいクラブの環境づくりの一つです。

楽しいクラブ環境づくりが、退会防止にもつながります。皆さん、

- 例会出席が少ないメンバー
- 元気がなく、落ち込んでいるメンバー
- 連絡が少ないメンバー
- 何か悩んでいそうなメンバー

このようなロータリーのメンバーに、声をかけていますか？ぜひ声をかけて下さい。電話でも、メールでも、会ってのお話でもいいです。同じロータリアンではないでしょうか。コロナ状況、社会状況、家庭・個人的理由で悩んでいます。みなさん、落ち込んでいます。支えあいましょう！誰かが声をかけるのではなく、自分が声をかけてください。会員みんなで、声掛けをしませんか？我々はロータリアンです。素晴らしいロータリー。国際社会でも評価が高いロータリー。これを支えるのは、会員一人一人です。みんなの力が今、必要です。

国際財団活動基金（WF）の7つの重点項目

1. 平和構築と紛争予防

5. 基本的教育と識字率向上

2. 疾病予防と治療

6. 地域社会の経済発展

3. 水と衛生

7. 環境

4. 母子の健康

これらを支援するのは、ロータリアンです。一人でも多くのメンバーが必要となっています。ポリオのワクチン、その他の疾病、ウクライナへの支援、アフガン問題など、とても多くの支援を立派に取り組んでいます。

ガバナー訪問で、ぜひ動画を見ていただきたいです。メンバーの理解なしではロータリーは始まらない。皆さんが、地域で展開している奉仕活動を、入会候補者や入会者に説明し、感動をしていただき、奉仕活動を共に展開させませんか。コロナ収束はまだですが、やるのは今でしょう。出来る範囲で、出来るだけやりましょう。誰がやりますか？それは私達ロータリアンではないでしょうか！世界で、地域で、ロータリーの奉仕活動を待っています。一人でも多くのメンバーとともに、ロータリーの友情をもって歩みましょう！

My Rotary のサイトの中に、「**クラブの健康チェック**」がありますので参考にしてみてください。また、「**会員の満足度を高める**」の欄を見ると、そこにアンケートがあります。これも参考になるかと思います。アンケートが出たら分析をして、評価・検討・対策へと解決型の取り組みをしていけば、退会防止につながるはずです。さらに皆さんがどのように感じ、考えているか、より具体的に理解できるでしょう。会員にとって「居心地のよいクラブ」かどうか、わかってくるのではないのでしょうか。

このガバナー月信サイトにも利用方法を掲載しておきますので、各クラブでぜひ取り組んでみて下さい。よろしくお願いいたします。

世界のため、地域社会のため、一人でも多くのロータリアンを増やして行きましょう！よろしくお願いいたします。



My Rotary

『クラブの健康チェック』
『会員の満足度を高める』

『クラブの健康チェック』を開く

『会員の満足度を高める』を開く

My Rotary のサイトへ



My Rotary (<https://my.rotary.org/ja/>) トップページメニューから

【ラーニング & 参考資料】⇒【主題別】⇒【会員増強】



会員増強ページの『クラブの現状を評価する』の欄にある

●クラブの健康チェック

●会員増強のための評価ツール

・会員の満足度を高める(会員満足度調査)

新クラブを結成する

時代に即したクラブにする

クラブの現状を評価する

会員のニーズに応え、地域社会を反映したクラブづくりに役立つリソース：

- クラブ計画アシスタンス：クラブが直面する課題に関する質問に答え、それらを克服するための具体的なアドバイスを得ることができます。その後、クラブの会員増強計画への戦略を立てましょう。
- クラブの健康チェック**：クラブが地域社会にとって大切な存在であり続けるために、定期的にチェックしましょう。
- あなたのクラブは健康ですか？：会員が満足するクラブづくりのために奉仕活動、親睦、公共イメージ、クラブ運営を改善する方法を紹介。ラーニングセンターから利用可能。
- 会員増強のための評価ツール：クラブの会員傾向と入退会の状況を分析し、多様な会員基盤づくりに生かすことのできる資料。
 - 地元の職業を反映したクラブに（職業分類調査）
 - 多様な会員が集まるクラブに（多様性調査）
 - 入会候補者を見つける（入会候補者情報の収集）
 - 会員維持力を高める（会員維持調査）
 - 会員の満足度を高める**（会員満足度調査）
 - 退会理由を理解する（退会者アンケート）
- クラブ会員基盤の多様化：よりインクルーシブ、多様で公平なクラブづくりの方法を紹介したラーニングセンターのコース。
- Understanding Membership Reports: Getting Started（英語）：会員増強の現状と課題を知る上で役立つ会員データの活用方法。

現会員の参加を促す

ロータリーへの参加促進のアイデアを紹介したリソース：

→

→



強化月間委員長寄稿 会員強化月間によせて

こづかひでゆき

狐塚 秀幸

会員組織委員会 委員長
今市 RC

8月には会員増強月間ですが、毎年RIや地区からは会員増強の必要性が強調され、会員増強の数値目標が示されます。確かにそれは最重要課題ですが、会員増強月間では、なぜ会員増強の必要性がこうも強調されるのかを再考する良い機会ではないかと感じています。

「ロータリークラブは社会的に善良的な奉仕活動をしている団体、組織である。だからより多くの人にこの活動に参加してもらって、奉仕の輪を広げよう。だからそのためには、より多くの人をクラブに誘おう。」という精神がロータリークラブの根底には、流れていると思います。

しかし現実では、昨今のコロナ禍やロシアウクライナ紛争などによる景気停滞や物価上昇、会社の経営圧迫などのマイナス要因が多く、会員増強には逆風の風が吹いています。しかしだからこそ、このような厳しい社会環境では、まさに我々ロータリークラブの支援が必要な人々や組織が確実に増加しているのも事実です。

そのためには、会員の増強による事業資金や運営資金の増加が、一番確実な手法ではないかと思います。今日ではクラウドファンディングなどの多面的な事業資金の調達方法がありますが、会員増強を資本とした事業資金、運営資金の確保と、数的マンパワーの向上が見込めます。

これは理想論かもしれませんが、このままの状態が続くと厳しい未来が待っています。確かに現実には厳しく、2550地区を取っても、1997～1998年度の2737名の会員数から、2021～2022年度は1645名とピーク時の60%ほどで、このままだと50%と半減してしまう恐れがあります。皆様のクラブはいかがでしょうか。経営に携わる皆さんならお判りでしょうが、自分の会社の従業員が半分になってしまったら、その経営に危機感を覚えるはずで、AIの導入などによって人的削減は見込めますが、人的ソフトの半減は厳しいはずで、

個人的に会員増強にとって重要なことは、魅力あるクラブであるかどうかだと思います。入会して一緒に活動したいと思うような魅力ある事業、奉仕活動を行っているかどうか。クラブ内にキラキラ輝く先輩がいて、一緒に活動したいと思えるようなロータリアンがいるのか。その人にとって入会動機は様々でしょうが、人を引き付ける何かがあるクラブには必要なのではないのでしょうか。

本年度の会員組織委員会では、まず各クラブの現状認識を深めたいと考えています。具体的には、各クラブの会員増強委員会の開催時に地区委員会が訪問させていただき、会員増強の現状、増強での問題点、地域特性による悩み、成功事例や地区への要望などを直にお聞きしたいと思います。アンケートなどの手法もあるのですが、なかなか本音では言えない部分や文字では表現できない生の声を共有し、問題点の解決方法の糸口や成功事例の拡散等を地区とクラブで模索していければと思います。現状ではコロナ禍における第7波によって実現は難しいかと思いますが、時期をみて実現したいと考えていますのでご協力をお願い致します。

地区委員長紹介

2022-23 年度 2550 地区 佐貫ガバナ一年度を支える
地区委員長の皆様をご紹介します。
1 年間、どうぞ宜しくお願い致します。

RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）委員会

RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）委員会 委員長

な か や け ん い ち

中谷 研一

（足利東 R C）



最初に、RLI の歴史とその背景についてお話ししたいと思います。RLI は、1992 年アメリカ第 7510 地区で元 RI 理事デビット・リネット氏の発案で始められた研修組織で、その理念は「質の高いリーダーシップの研修を通し、受講された会員がそれぞれのクラブに戻り、クラブを活性化すること」とされています。

また、RLI の特徴の一つはその研修方法です。RLI では、日本ではまだなじみが薄い「Active Study（全員参加型研修）方式」が取り入れられています。これはディスカッションの中に正解を求めるものではなく、参加者がそれぞれの項目について考え、自分の考えを表現すると共に、他の参加者の考えを受け止め、受講後参加者が自ら研鑽を深めていく方法です。RLI の研修内容は、基本編と卒後セミナーから構成されています。研修修了後、参加された皆さんが、積極的にクラブ活動に参加し、クラブの活性化やロータリーの発展に貢献されることが期待されています。

次に、現在の地区の活動状況をお話しします。2020 年より続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、2020-21・21-22 年度においては in person での研修を開催する事ができませんでした。しかし、新型コロナ感染症が世界的に改善傾向を示す中、当地区では 2022 年 4 月ようやく in person で行われた幹事エレクト研修セミナー（SETS）のプログラム中で幹事向けに RLI を開催する事ができました。今後再び感染拡大が起こるようであれば、少人数による開催やオンラインによる RLI 研修会開催も必要と考えております。今後、感染症再拡大等の状況を勘案し RLI の開催方法を再検討したうえで、今後の開催予定を改めて皆様にお知らせ致します。

最後に、今年度佐貫ガバナは、SETS において一部 RLI 研修を導入されました。今年度、会長・幹事エレクトをはじめ多くの皆さんと共に、クラブや地区を超え語り合い、友情を深めましょう。皆様のご参加をお待ちしております。クラブを超え、楽しくロータリーを語り親睦を深めましょう!!

（RLI 研修内容）

パートⅠテーマ：ロータリアンとしての私

パートⅡテーマ：私たちのクラブ

パートⅢテーマ：私のロータリーの旅

クラブ奉仕委員会

クラブ奉仕委員会 委員長

うちやまひろし

内山 浩志

(宇都宮陽南RC)



今年度よりクラブ奉仕委員長を拝命致しました、宇都宮陽南ロータリークラブ所属の内山浩志と申します。微力ではございますが邁進して参りますので宜しくお願い致します。

2022-23年度、ジェニファー・ジョーンズRI会長はテーマ講演の中に於いて、私たちが公平に人権・地域社会の中で力を尽くしてこそ実現できることが「みんなに公平か。」であると言っております。ロータリーの多様性や公平さ、そしてインクルージョンを取り入れたうえで努力し、あらゆる障壁を取り除くことこそがインクルージョンであり、会員増強のカギとなるとも言っております。

そして、国際ロータリー第2550地区2022-23年度ガバナーを担っている佐貫直通ガバナーは、会員増強と会員の維持そして若手会員や社会構造による新しい職種の人々の加入推進をうると言っております。

ロータリーの原点は、個々のロータリアンでありその集合体がロータリークラブになっています。したがって、ロータリーの活性化とは、いかに迅速にクラブの活性化を図るかということに掛かっております。

クラブ奉仕委員会は、ロータリー情報委員会・会員組織委員会・クラブ例会プログラム委員会の三つで構成されています。まず、ロータリー情報委員会がロータリーの情報や知識を会員が共有できるよう皆さんに発信し、次に会員組織委員会が各クラブの増強支援、入退会の情報や卓話依頼などがあれば各クラブへと訪問し、最後にクラブ例会プログラム委員会が各クラブの例会プログラムを把握し、楽しい例会や魅力的な例会のようないつもと違う様々な例会を考えていきます。クラブ奉仕委員会は、クラブ奉仕部門カウンセラーの森本敬三パストガバナーのもと、年間励んで行こうと思います。

職業奉仕委員会

職業奉仕委員会 委員長

かたやなぎひとし

片柳 均

(栃木南RC)



職業奉仕委員長を務めさせていただきます栃木南ロータリークラブの片柳均と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

これまでに地区職業奉仕委員会の事業において「ロータリーの友」の資料を、数多く参考とさせて頂きました。例年1月が職業奉仕月間となり「ロータリーの友」に職業奉仕の特集記事があります。その特集記事を職業奉仕委員会では研修のための参考資料としてきました。

「四つのテスト」の卓話の資料となったのは2010年の10月号にあった「四つのテスト その由来をひもとく」というインターネットの資料を参考としました。2016年1月号の「職業奉仕を实践」の特集では、現場での職業指導支援とか職業相談とかボランティア活動などの実践で、職業奉仕委員会の一昨年の方針として使いました。

2022-23年度ガバナー佐貫(さぬき)直通(なおみち)氏の地区方針に1.ロータリーの活動を知る、ロータリーがどの

ような活動を展開しているか調べるとあります。まさに「ロータリーの友」を講読する事で新たな情報を知る事が出来ます。2. ロータリーの歩み（活動）に参加する。「ロータリーの友」を講読する事で色々な活動が出来ます。そしてその活動を「ロータリーの友」に投稿しては如何でしょうか。今年度より「ロータリーの友」の検索項目で「職業奉仕」と検索しますと過去の記事を読むことが出来るそうです。これらを活用する事でさらに職業奉仕活動を推進できると考えます。即ち、「ロータリーの友」の活動を知り、ロータリーの活動に参加し、ロータリーを通じて社会を支えていく思いに繋がるといえます。それぞれのロータリアンが「ロータリーの友」に参加して、活動を起こす事で社会貢献をめざしてみましよう。

今年度の地区職業奉仕研究セミナーは「ロータリーの友」で『ガイ散策』シリーズを連載された鈴木一作様の講演を予定いたしております。どうぞ宜しくお願い致します。

社会奉仕委員会

社会奉仕委員会 委員長

わたなべ ゆうき

渡邊 有規

(宇都宮東RC)



2022-23 年度の社会奉仕委員長を仰せつかりました宇都宮東ロータリークラブの渡邊有規と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私たち第 2550 地区の各クラブの皆様も、多くの地域社会における奉仕活動を、多くのクラブが実行実践されております。先日行われました地区研修・協議会におかれましても、何組かの奉仕活動の発表と共に、各グループに分かれましたグループディスカッションにおきましても、多くのクラブの活動例が報告されております。地域地域におきましてこのコロナ禍の中にもありながらも、積極的に自主的に活動を継続されております。また、ここにおきまして改めて社会奉仕活動を実践されたい、実行していきたいとお考えのクラブも多くありました。私たちロータリアンは有り難い恩恵をこの社会の中にいただいております。それは感動と感謝の中に、ロータリアンとして責務を果たすべきチャンスをいただいているという事です。

長年、社会奉仕委員会は、子どもの貧困や、児童虐待、ネグレストなどを中心に活動してまいりました。相対的貧困率 15.6% 1956 万人、子どもの貧困 16.3%、母子家庭貧困率 50.8% となり、昨年度よりもその数値は悪化致しております。OECD 34 カ国中ワースト 1 位であるという統計があります。このコロナ禍が進む中、また、ウクライナ等大きな社会情勢の変化の中、物価高や円安の中にますます現状は苦しいものとなっております。と想像致しております。

今年度の私たちの RI 会長・ジェニファー E. ジョーンズ氏は、「イマジン ロータリー」を会長テーマに掲げておられます。「**大きな夢を抱き、行動を起こすこと**」地区社会奉仕委員会は、改めて各クラブの方々と共に現状を把握し、この変革を余儀なくされた社会にいかなる活動が必要とされているかを模索し、みなさんと共なる夢をイマジン（想像）してゆきます。そして、佐貫ガバナール地区方針における「汗を流し皆で社会を支えあう。自分のできる活動、奉仕への参加」を、実行実践できる機会を創り上げ、健やかなるこころ豊かな未来を夢見て想像し、心から寄り添うことの出来る各ロータリークラブ皆様の社会奉仕の活動に役立って参りたいと考えます。皆様どうぞよろしくお願い致します。

国際奉仕委員会 委員長

ぜんばやしとかみつ

善林 隆充

(宇都宮RC)



2022 年～ 2023 年の国際ロータリー 2550 地区の国際奉仕委員長を務めます。宇都宮 RCの善林です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、皆様のクラブではこの 2 年間はコロナと世界情勢の変化で海外に積極的に出かけて、国際奉仕活動ができるような情勢ではなかったのではないのでしょうか。

コロナは国際奉仕活動を大きく変化させてしまいました。しかし、2550 地区内でもグローバル補助金を使って積極的に国際奉仕活動をされているクラブもあります。そのクラブも海外に出かけたわけではなく、今までの交流から、グローバル補助金を使った国際奉仕活動ができています。さらに支援国との打ち合わせも今や現地で打ち合わせをすることなく、zoom など簡単に打ち合わせをすることもできます。コロナ過だから国際奉仕はできないとあきらめないでください。国際奉仕活動はハードルが高いから、自分たちのクラブではだめだとあきらめていませんか。国際奉仕活動はお金がかかるからとあきらめていませんか。国際奉仕活動の中にはグローバル補助金を資金源として活動しているクラブが多数あります。2550 地区ではこのグローバル補助金を使った国際奉仕活動をしているクラブが少ないのが現状です。ロータリー財団が推奨する 7 つの重点項目に合致する事業ならば、グローバル補助金の対象になります。国際奉仕は身近にできる事業です。国際奉仕委員会はそのお手伝いをさせていただきます。

活動計画

- ① 国際奉仕活動を推進するための情報の提供と研修会の開催。
- ② 具体的国際奉仕の活動の推進。
- ③ グローバル補助金活用の国際奉仕活動の実践。
- ④ 具体的支援国への訪問（前年度グローバル補助金事業の現地視察）
- ⑤ 姉妹クラブ・友好クラブの推進。
- ⑥ 新たな支援国の調査。

国際奉仕委員会は皆様のクラブの国際奉仕の応援団です。

是非、国際奉仕活動にチャレンジしてみてください。よろしくお願いいたします。

ロータリー財団委員会 委員長

もりもとけいぞう

森本 敬三

(大田原中央RC)



1917 年、アーチ・クランプ氏 (1916-17 年度 RI 会長) は「世界で良いことをするための基金をつくろう」とアトランタ国際大会で呼びかけました。そして、その年カンザスシティ RC から 26 ドル 50 セントが基金に寄せられ誕生したのがロータリー財団の始まりでした。それから 105 年経ち、ロータリー財団は 2020-21 年度では世界中で 3 億 8,400 万ドルの支援をする規模に成長しました。

当地区は、2021-22 年度、お陰様で年次基金寄付ゼロクラブゼロを達成出来ました。

第 2550 地区 2021-22 年度の実績

項 目	金 額	備 考
年次基金	281,943 ドル	1 人当たり 169 ドル/1,665 人 (3 年後の地区補助金に影響)
恒久基金	60,820 ドル	
ポリオ・プラス	39,673 ドル	寄付ゼロ 24 クラブ
その他指定寄付等	20,516 ドル	
合 計	402,951 ドル	1.665 人
PHF	192 人	PHF 認証 Point1,000 ドル達成
ベネファクター	8 人	恒久基金に 1,000 ドル(1 回)
メジャードナー	5 人	10,000 ドル以上
PHS	25 人	毎年 1,000 ドル
ロータリーカード	2.0%	保有率(個人スタンダード) 使用額の 0.3%ポリオ・プラスへ

皆様の暖かいご支援に感謝申し上げます。

2022-23 年度(佐貫年度)におきましても、引続きロータリー財団へのご支援をお願い申し上げます。

地区目標は

年次寄付 150 ドル / 人
ポリオ・プラス 30 ドル / 人
PHS(ポール・ハリス・ソサエティー) 純増 20 名
ロータリーカード 50%UP

何卒、皆様のご支援宜しくお願い申し上げます。

公共イメージ委員会 委員長

た は ら き よ し

田原 聖

(宇都宮東RC)



昨年度に続き、2022～2023年度公共イメージ委員長を仰せつかることになりました宇都宮東ロータリークラブの田原聖です。

佐貫ガバナーが掲げられた地区方針の中で、ロータリアンとしての矜持を持ち続けるには、ロータリーの活動を知り、ロータリーの歩み（活動）に参加し、ロータリーを通して社会を支えていく強い思いが必要とお話になっております。また、公共イメージに関して、自クラブのみの奉仕活動ではなく、多方面との共同奉仕活動も視野に入れ広報活動を行うことを検討するよう地区目標を掲げられております。

公共イメージの向上は、ロータリーのストーリーをより能動的に、より積極的に発信し、会員増強や奉仕活動のインパクト向上に貢献していく取り組みです。地域社会にロータリーを認識してもらうためには普段からコツコツとクラブが、会員個人が地道に奉仕活動を続け、まず「認知」してもらう、「信頼」してもらう、「好意」をもってもらい、そして今後「期待」してもらう、この繰り返しがロータリーの公共イメージ向上につながるのではないかと思います。ロータリーの公共イメージは、ウェブサイト、ソーシャルメディア、出版物だけでなく、会員の皆様の奉仕活動や、地域社会への参加によっても形づくられます。そのため、公共イメージを高めるには、地区内ロータリアンの皆様の協力が欠かせません。より地域社会でロータリーの認知度を高められるよう活動して参りますので、ご協力よろしくお願い致します。

本年度の活動目標

- ・ロータリーの公共イメージとその活動に対する人びとの認識を高めることの重要性を学ぶため、講師を招いたセミナーを開催し、各クラブの公共イメージ委員長と共に学ぶ場を設定します。
- ・地区の公共イメージ委員会として地元メディアと強いパイプを築き、報道機関、地域社会のリーダー、ロータリーの奉仕プログラムの受益者など外部の人々へ、ロータリーの活動を知ってもらえるように広報活動を行うことの大切さをお伝えします。
- ・ガバナーや各委員長との連絡を維持し、地区のプロジェクトや奉仕活動を把握し、より大きな広報活動を行えるように活動します。
- ・公共イメージに関するロータリーのオンラインリソースやブランドリソースセンターの活用方法を地区内クラブに伝えてまいります。地域にあった公共イメージキャンペーンを実施した成功例を集め、地区内クラブにお伝え致します。

ソーシャルメディア並びに IT 推進委員会 委員長

だ け だ ふ み お

武田 文夫

(宇都宮さつきRC)



今期のガバナー方針である IT 化、DX（デジタルトランスフォーメーション）化推進を支援してまいります。特に、ロータリーの情報共有に有効な My Rotary の活用を促進いたします。中でも、「クラブセントラル」の登録は、RI 会長賞受賞に必須であり、クラブの中長期計画を実現するために不可欠なものです。「クラブセントラル」は、目標と進捗の管理をクラブ会員で共有できます。会員は「My Rotary」を通して、リアルタイムで進捗の共有が可能となり会員の自律的な参加を促します。

また、会員増強活動を促進するためには、地区 WEB サイトのリニューアルを実施し、WEB サイトを起点に各クラブへの情報発信を強化してまいります。ガバナー月信をデジタル化し、WEB サイトから提供させていただきます。各クラブのブランディング支援についても引き続き実施し、各クラブの WEB サイト活用やソーシャルメディアの活用をご支援いたします。

<本年度の目標及び活動について>

【目標】 各クラブの効率的運営のための IT 化、DX 化をご支援いたします。

【活動計画】

1. クラブセントラルおよび My Rotary の活用促進支援

国際ロータリーが提供する「クラブセントラル」の運用を促進し、「My Rotary」の登録および活用をご支援させていただきます。

2. 地区 WEB サイトの活用と各クラブのブランディングのご支援

地区 WEB サイトのリニューアルを実施し、各クラブへの情報発信のデジタル化を強化します。また、各クラブのホームページまたは FACEBOOK ページの立ち上げ、ソーシャルメディアの運用方法に関する情報提供を通して、各クラブのブランディングをご支援させていただきます。

ロータリー米山記念奨学会委員会

ロータリー米山記念奨学会委員会 委員長

た じ ま よ し ひ さ

田 島 良 久

(馬頭小川RC)



今年度、地区の委員長を仰せつかりました田島良久と申します。所属クラブは馬頭小川ロータリークラブです。不慣れではございますが、どうぞ宜しくお願い致します。米山記念奨学会の事業とは、海外からの優秀な留学生を受け入れ奨学金を支給すると共に、日本の文化を理解して頂き、私達も海外の文化を理解して交流を図り、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー活動の良き理解者となる人材を育成することで、ロータリアンが目指す世界平和を求める全世界に誇れる国際奉仕事業であります。米山記念奨学会は、国際ロータリーから認められた日本 34 地区合同によるプロジェクトです。そして、公益財団法人として 55 年経過し、全て寄付支援金によって運営しております

2021 学年度の奨学生数は 910 人、事業費は 14 億 5 千万円 (20-21 年度決算) と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は 22,267 人 (21 年 7 月現在)、その出身国は世界 129 の国と地域に及んでおります。

本年度の目標としまして、一年を通じ、奨学生と地区内の会員との交流の機会を増やし、奨学会活動のさらなる理解を推進していきたいと考えます。ただ、活動するにも、やはり経済的に非常に困窮している現状です。各クラブへの「特別援助」を、お願いせざるを得ない状況ですので会員の皆様には御理解の程お願い致します。

今年度の学生数は 25 名ですが、次年度は 23 名に減ってしまいました。これは 2 年前の地区内の会員の皆様より納入して頂いた普通寄付・特別寄付・金額等によって決まりますので、支援金額が少なくなると奨学生の採用枠も減ってしまいます。会員の皆様には更なる御理解を頂くと共に、委員会としても学友会の活動をする事によって、寄付支援金額の増加が期待でき、採用枠の増加に繋がり、ロータリー活動の中の米山奨学会活動をさらに活性化していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

青少年奉仕委員会

青少年奉仕委員会 委員長

じ そ じ お さ む

二 十 二 修

(宇都宮北RC)



2022-23 年度地区青少年奉仕委員長を務めさせていただく事となりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当地区の青少年奉仕委員会は、インターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換の 3 委員会で構成されています。昨年度より青少年奉仕委員会の 1 部門であったローターアクトは、ロータリーが指導育成するプログラムから、ロータリーとともに奉仕する真のパートナーとその立ち位置を変え、青少年育成プログラムより巣立って行きました。従って今年度も先に申し上げた 3 つの部門委員会で活動してまいります。

青少年奉仕各部門委員会の目的は、「将来、地域社会および世界のリーダーとなる青少年を育成する」事にあります。地区委員会としましては、この目的に向けての各クラブの積極的活動をご支援してまいりたいと思います。

また、これら3つのプログラムは、RIの常設プログラムであり、その枠組みと指針はRI理事会より示されております。特に昨今、青少年を災害や疾病および事件・事故から守るため細心の注意を払うよう強く要請されております。地区委員会としましてはこれら指針を遵守し、青少年奉仕各プログラムの更なる活性化に寄与してまいりたいと思います。会員の皆様におかれましても、「青少年と接する際の行動規範に関する声明*」をご理解いただくとともに地区ホームページに記載の「青少年保護の手引き」をご一読いただきますようお願い申し上げます。

特に新型コロナ感染拡大の環境下では、青少年の健康と安全を最優先にプログラムを実施していくことが重要と考えます。

そのような中、先般のRI理事会にて青少年交換プログラムを2022年7月1日より再開するという決定がなされました。当地区においてもこの決定を受け、今年度より青少年交換プログラムを含む海外プログラムを再開の予定です。また、国内プログラムも再開に向け準備をすすめているところでございます。

地区内会員の皆様におかれましては、「未来のリーダーを育む」という、夢のような青少年奉仕の各プログラムに積極的に参加いただき、そして楽しんでいただきたいと思います。地区委員会としましては、そのためのお手伝いをさせていただきます。

一年間よろしくお願い申し上げます。

*青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するように努める。ロータリアン、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、および精神的な虐待から彼らの身を守るため、最善を尽くす責任がある(2019年10月理事会会合決定58号)

ローターアクト委員会

ローターアクト委員会 委員長

まつやまさかえ

松山 栄

(宇都宮東RC)



今期の地区内ローターアクトクラブは、足利東 RAC の休会に伴い「宇都宮東 RAC」、「作新学院大学 RAC」、「蔵の街とちぎ RAC」の3クラブで活動することになりました。地区ローターアクトとは、全国34地区間での他地区合同研修会または地区内の全アクトクラブ対象の研修会をするための団体であり、地区内の活動は各ローターアクトクラブが独自の社会奉仕活動および国際奉仕活動を実施しています。

<地区ローターアクトの新方針>

1. 友好他地区ローターアクト年次大会参加はすべて見送る。
2. 地区ローターアクト年次大会については単独開催を見送る。
3. 第一エリア会議、関東ブロック・ローターアクト研修会、全国ローターアクト研修会といった地区ローターアクト代表に議決権のある重要な会議については、引き続き代表または代表が委状した代理が1名参加する。

以上、上記3つの地区ローターアクト新方針のもと

- ・「地区ローターアクト委員会」開催。⇒2022/7/28・2023/1/12・2023/6/17
- ・地区インターアクトクラブ「年次大会」参加交流。⇒2022/8/12
- ・ローターアクト地区研修会開催。⇒2022/9/3
- ・第1エリア会議参加。(ホストクラブ：RI2500 北海道西部)⇒2022/11/15
- ・地区ロータリークラブ「地区大会 本会議」⇒2022/12/11
- ・地区ローターアクト「年次大会」同時開催希望。⇒2022/12/11
- ・全国一斉献血活動に伴う地区献血活動実施。⇒2023/2/15
- ・全国ローターアクト研修会参加 (RID2610 石川地区 金沢市)⇒2023/3/25 ～ 26
- ・関東ブロック研修会参加 (ホスト：RID2590 神奈川東部 横浜市)⇒2023/4/29 ～ 30

以上の通り、地区ローターアクトは今までの永きに渡る友好他地区年次大会への参加および地区ローターアクト年次大会単独開催を断念することとなりますが、地区ロータリーおよび提唱ロータリークラブには、引き続きロータリークラブとローターアクトクラブは、国際ロータリー (RI) というグローバルな連合体に加盟している団体である事をご理解のうえご協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、他地区合同活動は地区ローターアクトがすべての費用を賄い地区ロータリーから支援金を調達するものです。

05 地区クラブ 会長・幹事紹介

第1グループ

大田原		黒 磯		西那須野		黒 羽		大田原中央	
									
〔クラブ会長〕 荻原 智光	〔幹 事〕 阿久津 清孝	〔クラブ会長〕 植竹 一裕	〔幹 事〕 大島 三千三	〔クラブ会長〕 高橋 正晃	〔幹 事〕 和泉 卓哉	〔クラブ会長〕 丹野 洋	〔幹 事〕 大西 広明	〔クラブ会長〕 川口 篤史	〔幹 事〕 小川 典重

第2グループ

烏 山		氏 家		矢 板		馬頭小川		高根沢	
									
〔クラブ会長〕 滝口 貴史	〔幹 事〕 福田 長弘	〔クラブ会長〕 野澤 壮監	〔幹 事〕 鉢村 悦男	〔クラブ会長〕 千野根 友和	〔幹 事〕 直井 美紀男	〔クラブ会長〕 白相 淑久	〔幹 事〕 大熊 貞雄	〔クラブ会長〕 鈴木 章	〔幹 事〕 大根田 安利

第3グループ A

宇都宮		宇都宮西		宇都宮北		宇都宮 90		宇都宮陽北	
									
〔クラブ会長〕 大矢 裕啓	〔幹 事〕 崎尾 肇	〔クラブ会長〕 滝田 有彦	〔幹 事〕 岩原 正樹	〔クラブ会長〕 猪俣 裕一	〔幹 事〕 大橋 義弘	〔クラブ会長〕 亀田 和義	〔幹 事〕 砂川 博人	〔クラブ会長〕 熊本 泰久	〔幹 事〕 関 夫美

第3グループ B

宇都宮東		宇都宮南		宇都宮陽東		宇都宮陽南		宇都宮さつき	
									
〔クラブ会長〕 加藤 勝朗	〔幹 事〕 塚越 淳史	〔クラブ会長〕 平澤 照隆	〔幹 事〕 青木 克浩	〔クラブ会長〕 増淵 貴之	〔幹 事〕 名村 史絵	〔クラブ会長〕 青島 由加利	〔幹 事〕 神山 良平	〔クラブ会長〕 小山 弥生	〔幹 事〕 増子 邦彦

第4グループ

真 岡		益 子		真岡西		下野上三川	
							
〔クラブ会長〕 市村 忠男	〔幹 事〕 見目 良一	〔クラブ会長〕 藤原 郁三	〔幹 事〕 高根澤 良一	〔クラブ会長〕 田尻 健司	〔幹 事〕 田上 富美子	〔クラブ会長〕 沼生 隆	〔幹 事〕 塩澤 弘崇

第5グループ

小 山		小山南		小山東		小山北		小山中央	
									
〔クラブ会長〕 岩崎 晴一	〔幹 事〕 黒澤 昭夫	〔クラブ会長〕 栗原 勉	〔幹 事〕 知久 静江	〔クラブ会長〕 野口 起生	〔幹 事〕 塚原 義朗	〔クラブ会長〕 鈴木 一雄	〔幹 事〕 河野 広兵	〔クラブ会長〕 松本 淳子	〔幹 事〕 松島 誠

第6グループ

栃 木		栃木西		岩 舟		壬 生		栃木南	
									
〔クラブ会長〕 菅井 忠明	〔幹 事〕 田島 大	〔クラブ会長〕 押山 利男	〔幹 事〕 平野 和正	〔クラブ会長〕 新井 正人	〔幹 事〕 五十畑 賀章	〔クラブ会長〕 中山 健	〔幹 事〕 川嶋 健市	〔クラブ会長〕 佐山 華奈子	〔幹 事〕 関口 國夫

第7グループ

日 光		鹿 沼		今 市		鹿沼東		鹿沼中央	
									
〔クラブ会長〕 相良 芳隆	〔幹 事〕 岸野 稔	〔クラブ会長〕 櫻井 武彦	〔幹 事〕 日向野 博史	〔クラブ会長〕 沼尾 貴文	〔幹 事〕 大嶋 隆広	〔クラブ会長〕 前田 裕之	〔幹 事〕 鈴木 勤	〔クラブ会長〕 池澤 達夫	〔幹 事〕 留目 学

第7グループ

今市きぬ	
	
〔クラブ会長〕 福田 有宏	〔幹 事〕 鈴木 公人

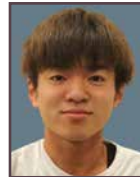
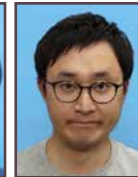
第8グループ

足 利		足利東		足利西		足利わたらせ	
							
〔クラブ会長〕 谷津 範之	〔幹 事〕 亀井 孝哲	〔クラブ会長〕 地齋 和雄	〔幹 事〕 提箸 照之	〔クラブ会長〕 大塚 真司	〔幹 事〕 世取山 晃央	〔クラブ会長〕 林 貴義	〔幹 事〕 倉林 敬

第9グループ

佐 野		葛 生		田 沼		佐野東	
							
〔クラブ会長〕 菊澤 洋之	〔幹 事〕 河邊 勝実	〔クラブ会長〕 永井 治寿	〔幹 事〕 土屋 登	〔クラブ会長〕 遠藤 計二	〔幹 事〕 江田 豊	〔クラブ会長〕 遠藤 寿夫	〔幹 事〕 村野 幸寿

06 ローターアクトクラブ 会長・幹事紹介

宇都宮東		作新学院大学		蔵の街とちぎ	
					
[クラブ会長] Theth ChanSothea		[幹事] 遠山 拓海		[クラブ会長] 関谷 暢	
		[クラブ会長] 千葉 奈央也		[幹事] 大木 溪一郎	
		[幹事] 大森 圭太			

07 行事实施報告



第一回地区米山記念奨学会委員会並びに奨学生卓話研修会 6/19 (Sun)

2022年6月19日、宇都宮市のホテルニューイタヤにおきまして、午前中に第一回地区米山委員会、午後に奨学生卓話研修会を開催いたしました。この米山委員会では、今年度の決算並びに次年度の予算、活動計画について話し合います。出席者は、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、ガバナー補佐そして米山委員会の皆さんです。この中で、重要項目に次年度の当地区で受け入れる奨学生の人数と指定校(大学)への募集学生数の振り分けがあります。次年度新規に募集する学生数は、15名になります。また、次年度は、ガバナー補佐の皆さんにお願いし、ロータリアンの皆様にさらに米山について理解を深めていただこうと、委員会に参加をお願いしました。

午後からは、例年通り、2年目奨学生の卓話を聞き、今年からの奨学生に対し、卓話とはどういうものか、どのように組み立て、皆さんの前でお話するかを勉強してもらいました。最後に奨学生の近況報告を話してもらいました。皆優秀な学生ですので、それぞれに特徴のある、そして楽しい話で終始しました。今年は25名の奨学生が地区にいますので、皆様のクラブ例会において卓話を披露させていただければ幸いです。卓話の依頼は、皆様のクラブの米山委員会から地区米山委員会や、ガバナー事務所に連絡いただければ、手配できるようになっております。

色々な国からの学生がおりますので、居ながらにして、各国のお話や、習慣の違い、考え方に違いを理解できるかと思います。今後とも米山記念奨学会にご寄付と共にご支援をお願いいたします。 2018-22年度地区米山記念奨学会委員長 長正英





2022 年 6 月 5 日（日）乃木温泉ホテルにおいて、西那須野ロータリークラブ創立 50 周年記念式典を開催いたしました。本来であれば昨年の秋ごろの開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響が少しでも少なくなるように、またワクチンの接種が少しでも進むようにとのことから、このような時期での開催となりました。

西那須野ロータリークラブは 1971 年 11 月 8 日に創立総会を行い、同年 12 月 10 日に RI 加盟認証されました。そして 1972 年 6 月 4 日にチャーターナイトがホテルニュー塩原において開催されました。

式典には来賓として、那須塩原市長渡辺美知太郎様、参議院議員渡辺喜美様、栃木県議会議員関谷暢之様、相馬政二様、西那須野ライオンズクラブ君島将之様にご出席いただき、また石田順一ガバナーをはじめ、森本敬三パストガバナー、富田勸第一グループガバナー補佐、第一グループ各クラブの会長幹事の皆様、そして友好クラブである新座ロータリークラブ、郡山安積ロータリークラブ、茂原中央ロータリークラブの会員の皆様、そして米山奨学生、以前世話クラブとなった米山学友と、大勢のロータリーの仲間にも多数のご参加いただきました。ただ一つ残念なことは、海外の姉妹クラブであるパラニアックロータリークラブ、東水原ロータリークラブ、そして桃園ロータリークラブの皆さんをお招きできなかったことです。

式典は 10 時に点鐘で始まり、池嶋英哲実行副委員長の開会の言葉、国歌斉唱、ロータリーソングの斉唱、来賓紹介と続き、物故会員に対しての黙祷を行いました。その後、角橋徹実行委員長の挨拶、会長の歓迎の挨拶、また当日入会となった西山庸和さんの入会式を執り行いました。



次に小中一成記念事業委員長より、創立 50 周年の記念事業が発表されました。創立 50 周年の記念事業は、フィリピンのパラニアックロータリークラブと共同でのサンゴ礁の復元事業 SAVE OUR REEF、台湾の桃園ロータリークラブと共同のグローバル補助金を活用した乳がんと子宮頸がんの移動検査車両の寄贈、そして那須野が原博物館に創立 50 周年の記念碑の建立、那須塩原市、ロータリー財団、米山学友会への寄付を行いました。次に 46 代から 50 代までの歴代会長に感謝状の贈呈を行い、受賞者を代表して直前会長の鈴木明裕会員より挨拶をいただきました。そして来賓祝辞を石田順一ガバナー、渡辺美知太郎那須塩原市長、渡辺喜美参議院議員からいただき、姉妹クラブの桃園ロータリークラブからいただいたビデオメッセージ放映を行いました。その後、国内友好 3 クラブの会長からご祝辞をいただきました。関谷直人実行副委員長による閉式の言葉の後に点鐘を行い西那須野ロータリークラブ創立 50 周年記念式典は無事に終了いたしました。

式典終了後には地元西那須野町出身のチェロ奏者金子鈴太郎さんの創立 50 周年記念コンサートが行われ、そののち祝賀懇親会を実施いたしました。西那須野ロータリークラブは創立 50 周年という大きな節目を超え、100 年に向けての新しいスタートを切ることができました。新型コロナウイルスの影響で開催することも危ぶまれていた創立 50 周年記念式典ですが、大勢の皆様のご協力があり無事に終了することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。そして開催の準備にご尽力いただきましたクラブ会員の皆さん、実行委員会の皆さん、そして小出会員にこの場をお借りして感謝申し上げます。

西那須野ロータリークラブ 会長 渡邊将宏



2022 年 6 月 15 日（水）、ベルヴィ宇都宮にて 2021 - 22 年度のインターアクト第 2 回合同会議及び IAC 会長・幹事研修会を開催致しました。

合同会議は、地区委員会と提唱クラブ及び IAC（高校）が参加して、今年度の活動報告及び次年度の活動計画等について意見交換を行い、IAC 活動の活性化を図ることを目的として年 2 回開催している会議です。昨年度は、コロナ感染防止対策として、オンラインで開催しておりましたが、やっと、感染対策しながらですが対面で開催する事ができました。参加者は、石田ガバナー、佐貫ガバナーエレクト、川嶋カウンセラー、二十二青少年奉仕委員長、地区委員 8 名、ローテックス 2 名、IAC 顧問教諭 15 名、IAC 会長・幹事 17 名、提唱クラブ担当委員長等 20 名の合計 66 名でした。午後 13 時 30 分から午後 16 時 30 分までの 3 時間を 3 部制（第 1 部講演会、第 2 部分科会、第 3 部まとめ）に分けて開催致しました。



第 1 部は本館 4 階のヴァーグデリスにて、石田ガバナーの点鐘及びインターアクトの歌で始まり、藤島地区 IA 委員長が「コロナ感染拡大でこの 2 年間、活動の制限を受けてきたことにより、各高校のインターアクトクラブ活動や地区事業が止まってしまい【未来のリーダーを育てる】という青少年奉仕の目的を果たせない状況が続いております。この状況を変えて行くために、今回は絶対に、インターアクトクラブの会長・幹事（高校生）に参加してもらい、先輩であるローテックスの体験に基づく講演を聞いて刺激を受けてもらいたいと思いました。また、会長・幹事研修会では、制限のある困難な 2 年間で同様に過ごしてきた他校の会長・幹事の仲間と対面での交流を行い、インターアクトクラブ活動の素晴らしさを体験してもらい、今後のインターアクトクラブ活動の活性化につなげていただきたいと思います。参加者には 1 週間の健康観察を行ってもらい安全な状態で参加していただきました。また、感染対策として二つの会場を使用するため移動等のご不便をおかけいたしますが、最後までご協力をよろしくお願い致します。」と開催目的等の報告をしました。また、その後の石田ガバナーの来賓あいさつでは、「今年度はコロナ過の影響で活動制限された年で、記録には残らないが記憶には残る年でした、本当にお世話になりました。」と 1 年間のお礼と感謝を述べられ、シェカール・メータ R I 会長テーマの「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を紹介して「ここでしっかり目標実現に向かい計画をたて次年度に備えて下さい。」と次年度へ備える大切さを教えていただきました。続いて、佐貫ガバナーエレクトの来賓あいさつでは、「国内での奉仕や国際交流を経験し、若い時にボランティア精神をもち、国際感覚を習得することができるのが、インターアクトです。そして、インターアクトの次はローターアクト、その次がロータリークラブです。若いときの、経験を活かしてロータリアンになってください。」とロータリアンへの成長につながるように期待が述べられました。続いて、川嶋カウンセラーに「ロータリーとは」のご講演をしていただきました。内容は「ロータリーは 1905 年のアメリカ・シカゴで、弁護士ポールハリスが、自分たちの生活（職業）を成り立たせるにはどうすればよいかを考えるために、4 人でスタートさせた。最初は、1 業種 1 人にし、その人の持っている悩みなどを 4 人で話し合ったところ良い結果が生まれ、相互補助から職業奉仕につながり、ロータリアンであることが信

頼につながっていった。そして、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕へと活動が広がって行った。日本のロータリークラブは、1920 年に三井物産に勤めていた「米山梅吉」により設立された。はじめは動きが鈍かったが、1923 年に関東大震災がおきたときに 500 以上のロータリークラブから義援金を送られてきて、ロータリークラブの重要性が伝わり、日本国内にも広がった。1961 年インターアクトができたときに、東京で国際大会があり、ロータリアンであった父親に連れられて参加し、ターバンを巻いたインド人・外国人が珍しくて鮮明に覚えている。地道なロータリー活動が世の中に役立つことを学んだ。青少年奉仕は、子供たちが本当に必要なものに対してバックアップできたら面白いと思う。」と高校生にも解りやすい言葉で自分の体験などを交えて講演いただきました。

続いては、ローテックスの原瑞果さんに「インターアクトと国際理解」について講演をしていただきました。原さんは、宇都宮文星女子高 2 年生の時に、宇都宮北 RC の推薦で、台湾の 3510 地区に 1 年交換留学生として派遣されました。その後中央大学に入学と同時にローターアクトクラブに入会し「タイの貧困地域の子どもたちへの学生寮を届けるプロジェクト」や「オーストラリア・アデレードへの短期留学」を経験し 3 年生の時に中央大学ローターアクトクラブ 80 名の会長に就任しました。内閣府主催の「日本韓国青年親善交流事業」にも参加し、中央大学ローターアクトクラブ会長を務めながら就職活動中の忙しい中、「インターアクターの後輩たちのためになるなら講演をやらせてください」と今回の公演を快く引き受けていただきました。

(以下内容)

★インターアクトクラブで、世界への扉を開く鍵を見つけた。

○インターアクトクラブで、初めて海外との接点を得ることができて、人生が変わりました。文星女子高校では、台湾との交流を主に活動していました。

★青少年交換プログラムで、扉を開いて世界の広さを体験した。

○青少年交換プログラムで、台湾の 3510 地区に派遣していただいて、世界から集まった各国の留学生と交流することができ、世界での経験が得られた。

★ローターアクトクラブで、今まで得た経験を武器にして様々な挑戦・冒険をしている。

続いて、第 2 部分科会の「会長・幹事研修会」が行われました。

会場を新館 1 階のパストオーンに移して、会長・幹事エレクト研修セミナーを開催しました。第 1 部の原瑞果さんのご講演に続いて、第 2 部ではローテックスの苅込陽加さんのご講演をお聴きした後、お二人を交えて生徒との交流の時間を設けました。参加者に年代が近いお二人の話は、インターアクターにとって大変に刺激的で興味深い内容だったようで、多くの質問がありました。「自分も留学を検討しているが、留学している最中に言葉が話せなくて困ったことは無いか」という質問に対し、「最初は不便を感じたこともあったが、ジェスチャー等を交えてコミュニケーションをとったりしているうちに、中国語で夢を見るようになり、いつの間にか意識しなくても言葉が話せるようになっていく自分に気付いた」などという二人の回答に参加者が大きく頷く場面がありました。また、「ロータリーとの出会いは、自分の人生を 180 度変えた」という原さんの言葉と「留学することで高校生活を 1 年多く過ごすことになったが、得られた事のほうが多かった」という苅込さんの話に、インターアクトクラブが世界とつながるチャンスのある活動であり、自分たちが現在そのステージに立っていることに初めて気づいた生徒も多かったようです。次に、各校の活動状況と計画について発表していただきました。各校ともコロナウイルス感染拡大の影響で例会の開催ができていない状況が続いているようで、インターアクトソングを初めて聴いたという生徒や例会のやり方が分からないという学校がありました。活動報告として、先日開催された高校生 RYLA セミナーに参加したことを挙げた学校が多く、国際的な決議機関の会議を模した「模擬国連」で、同世代の人と立場を超えて話し合い、合意を形成していくという内容に、日頃の勉強とは違う新鮮さを感じていただけたようでした。現在は、先輩の代から受け継がれている募金などの活動が中心という学校が多くありましたが、交流が難しい中でも台湾の姉妹校とリモート交流を行うなど、コロナ禍ならではの活動を行っている学校もありました。地区インターアクト委員会が企画する台湾との交流事業が 2 年連続で中止になり、代替案として企画した国内研修事業も実施できなかった事で、他校との交流を行うのが今回の合同会

議が初めてという生徒がいました。今年度においても国際交流事業の開催が不透明な状況ですが、インターアクターとして充実した活動を行える日が一日も早く訪れることを祈ります。



また、もう一つの第 2 部分科会「第 2 回合同会議」を引き続きヴァーグデリスで実施して、藤島委員長が今年（2021 - 22）度の事業活動報告と次年（2022 - 23）度の年間活動計画を発表し、質疑応答を行い承認されました。

また、各提唱 RC 及び各高校 (IAC) の活動報告・計画等では「今年度も昨年度に続きコロナ感染拡大の影響で活動が制限された。感染対策しながら出来ることを探して活動したが、十分な活動はできなかった。次年度こそは、生徒が一番期待している国際交流事業を実施してもらいたい」と国際交流事業実施への強い要望をいただきました。

最後の第 3 部まとめでは、参加者全員に本館 4 階ヴァーグデリスに集合してもらい、ローテックスの原さんと苅込さんに司会進行をしていただきました。最初に、宇都宮文星女子高校などでインターアクトクラブの皆さんに「模擬例会」を開催してもらいました。今後の各高校 IAC の例会開催の参考にして頂きたいと思います。続いて、各高校 IAC 会長から研修会に参加した感想を発表していただきました。「栃木県に国際的な活動をしている人（ローテックス）がいることが刺激になった」「模擬国連や合同会議に参加してみて、ロータリアンに女性が少ないと思った」「インターアクトは自分の可能性を広げるチャンスだと思った、自分の行動次第でこれからの可能性を広げられると実感した」「自分たちが思う様なことが出来なくて悲しい 1 年間であったが、これから、出来なかった事を少しでも出来るように活動し、インターアクトだけでなく学校全体で協力してもっと何か出来ることを考えて行きたい」「自分は留学を考えており、今日の留学の話を聞いて大きな刺激をもらった、世界から日本を見ることを意識して行動して行きたい」「インターアクトクラブはボランティアだけでなく世界とつながる可能性に満ち溢れていると思った、日本しか知らないの海外の視点を学びたいと思った」「ローテックスである先輩の話を聞いて、外から自分の住む地域や自分のことを知る重要性を知った、自分や周りの人たちの新たな可能性を見つける機会になった」「ローテックスの 2 人が海外研修で世界への扉を開き、体験したことを日本でも生かしていることがすごい、学校にもどって今回の内容を伝え、これからの活動を頑張りたい」という内容でした。全員がインターアクトクラブ活動の素晴らしさを、ローテックスの原さん、苅込さんの体験談等から感じて刺激を受けてくれたようです。この刺激を、これからの活動に活かして、いろんなことに挑戦して頂きたいと思いました。最後の総評では、藤島地区 I A 委員長が開催できたことへのお礼と、次年度活動へのご理解とご協力をお願いをして、石田ガバナーの点鐘で閉会いたしました。

今年度は、年次大会を 8 月 9 日にオンラインで開催し始まりましたが、その後はコロナの感染拡大により「10 月の地区大会参加中止」「国内交流事業中止」など多くの事業を中止せざるを得なくなり、参加を楽しみにしてくれていたインターアクターの皆様に対して申しわけない気持ちで一杯でした。現在の高校生は、3 年生が入学する直前の 2020 年 2 月に栃木県で最初のコロナ感染者が確認されてから高校に入学しているので、大切な高校生活をコロナ感染対策の制限の中で過ごすなければならない厳しい状況にあります。しかし、本日の IAC 会長の皆さんの前向きな感想を聞いて、未来に向かって前向きに取り組んで行こうとする姿勢を強く感じ取る事が出来て、やる気をいただきました。青少年育成の重要性を再認識することが出来ました。

高校生のあきらめない無限の力の素晴らしさを感じ取ることができました。最後になりますが、合同会議及び会長・幹事研修会の開催にあたり、ご指導、ご支援いただきました関係各位に対し厚く感謝申し上げます、ご報告と致します。

地区インターアクト委員長 藤島 拓（宇都宮南 RC）

新入会員紹介



やつ ひでゆき
谷津英之

宇都宮南

2022年6月8日入会

株式会社足利銀行
江曾島支店 支店長

よろしくお願いします。



いまいずみ はじめ
今泉 一

宇都宮東

2022年6月21日入会

(有)今泉貴金属
代表取締役社長

経営者としての人間力を高めるため、メンバーと交流を図りたいです。



はしもと ひろし
橋本 洋

壬 生

2022年7月2日入会

株式会社栃木銀行
壬生支店 支店長

この度入会させていただきます橋本です。よろしくお願いします。



さかもと えつお
坂本悦男

壬 生

2022年7月2日入会

獨協医科大学
事務局長

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



あだち きみこ
安達公子

宇都宮陽東

2022年7月1日入会

(株)大貫
代表取締役社長

よろしくお願いいたします。



おくま さのり
奥間政宣

日 光

2022年7月1日入会

金谷ホテル株式会社
取締役総支配人

皆様と一緒に活動し人生を豊かにするのが楽しみです。



いざわ よしみつ
伊澤義満

今 市

2022年7月6日入会

有限会社大津屋
代表取締役

ロータリー活動を通じ、奉仕の理念を学んでいきたいと思っております。



おおしま こうへい
大嶋康平

今 市

2022年7月6日入会

有栃木県森林組合連合会
業務課長

宜しくお願い致します。



ひとり としゆき
委文俊行

栃木南

2022年7月1日入会

(有)委文建設
代表取締役

よろしくお願いいたします。



すずき やえこ
鈴木八重子

栃木南

2022年7月1日入会

(有)梨昌苑
役 員

よろしくお願いいたします。



ゆざわとしひろ

湯澤利浩

鹿 沼

2022年7月1日入会

(株)オーパス・ワン
代表取締役

宜しくお願い致します。



くらさわしゅんすけ

倉澤俊輔

鹿 沼

2022年7月1日入会

野澤建機興業(株)
代表取締役

宜しくお願い致します。



みしなししゅき

三品敏行

鹿 沼

2022年7月1日入会

三品造園土木(株)
代表取締役

宜しくお願い致します。



かづまたけひろ

鹿妻武洋

鹿 沼

2022年7月1日入会

合同会社TOY
代表社員

宜しくお願い致します。



ふくだともり

福田智典

鹿 沼

2022年7月1日入会

(株)福田造園
代表取締役

宜しくお願い致します。



ほし たかひろ

星 高広

鹿 沼

2022年7月1日入会

(株)アイツヤ
代表取締役

宜しくお願い致します。



わたなべやすひろ

渡邊康浩

今 市

2022年7月6日入会

株式会社渡邊佐平商店
代表取締役

ロータリー活動を通じ、奉仕の理念を学んでいきたいと思ひます。



ぼくもとのりひと

朴本則仁

今市きぬ

2022年7月19日入会

(有)アシスト
代表取締役

福田会長とは 40 年の付き合いになります。お誘いをいただき入会をさせていただきます。



いのせただゆき

猪瀬忠之

今市きぬ

2022年7月19日入会

有限会社梅屋商店
代表取締役社長

たくさんの方との出会いを大切に、いろいろと学ばせていただきます。



かねこたかし

金子卓史

足利 東

2022年7月19日入会

みずほ銀行
足利支店 支店長

地域の発展に資する貢献ができるよう頑張ります。



もちづきあきお

望月昭夫

足利 東

2022年7月19日入会

望月運送株式会社
代表取締役

宜しくお願いします。

22-23 年度 8月・9月・10月 地区内・外主要行事 予定表

8	7	日	23-24年度1年交換派遣学生選抜試験	ベルヴィ宇都宮	地区青少年交換委員会
8	12	金	インターアクト年次大会 *Zoom開催		ホスト: 文星女子高校
8	18	木	22-23青少年交換受入学生来日		地区青少年交換委員会
8	19~21	金~日	22-23青少年交換受入学生日本語勉強会	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
8	20	土	22-23一年交換学生歓迎会		地区青少年交換委員会
8	21	日	職業奉仕研究セミナー	ベルヴィ宇都宮	地区職業奉仕委員会
8	21	日	クラブ米山委員長会議	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
8	27	土	地区財団補助金支給説明会	ベルヴィ宇都宮	地区財団補助金委員会
8	27	土	22-23青少年交換受入学生オリエンテーション	ニューサンピア栃木	地区青少年交換委員会
8	27~28	土~日	23-24派遣学生・22-23受入学生宿泊オリエンテーション	ニューサンピア栃木	地区青少年交換委員会
10	2	日	23-24ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮	
10	29	土	R1定款細則、標準ロータリークラブ定款等に関するセミナー	ホテルニューイタヤ	

ガバナー訪問

2022年7月			2022年8月			2022年9月			2022年10月			2022年11月		
1	金	ガバナー会	1	月		1	木	鹿沼	1	土		1	火	岩舟(夜)
2	土		2	火	足利東	2	金		2	日		2	水	壬生
3	日		3	水	高根沢	3	土		3	月		3	木	
4	月		4	木		4	日		4	火	西那須野	4	金	
5	火		5	金		5	月		5	水	佐野東	5	土	
6	水		6	土		6	火	宇都宮	6	木		6	日	
7	木		7	日		7	水	宇都宮南	7	金		7	月	佐野
8	金		8	月	宇都宮90	8	木	氏家	8	土		8	火	葛生
9	土		9	火	宇都宮陽北	9	金		9	日		9	水	
10	日		10	水	黒磯	10	土		10	月		10	木	田沼
11	月		11	木		11	日		11	火		11	金	
12	火		12	金		12	月		12	水	真岡西	12	土	
13	水		13	土	お盆休み	13	火	烏山(夜)	13	木	日光	13	日	
14	木		14	日	お盆休み	14	水	馬頭小川	14	金	小山東	14	月	
15	金		15	月	お盆休み	15	木	大田原	15	土		15	火	宇都宮東
16	土		16	火	お盆休み	16	金		16	日		16	水	栃木
17	日		17	水		17	土		17	月		17	木	足利わたらせ
18	月		18	木	宇都宮北	18	日		18	火	小山南	18	金	
19	火		19	金		19	月		19	水		19	土	
20	水		20	土		20	火	鹿沼中央(夜)	20	木		20	日	
21	木	真岡	21	日		21	水	益子	21	金	黒羽	21	月	
22	金	足利	22	月	宇都宮さつき(夜)	22	木		22	土		22	火	
23	土		23	火	栃木西	23	金		23	日		23	水	
24	日		24	水	今市	24	土		24	月		24	木	宇都宮西 宇都宮陽南(夜)
25	月		25	木	足利西(夜)	25	日		25	火	今市きぬ	25	金	
26	火		26	金		26	月		26	水	鹿沼東	26	土	
27	水	下野上三川	27	土		27	火	矢板	27	木	小山	27	日	
28	木	栃木南	28	日		28	水	小山北	28	金		28	月	
29	金		29	月	小山中央	29	木	大田原中央(夜)	29	土		29	火	
30	土		30	火		30	金		30	日		30	水	宇都宮陽東
31	日		31	水					31	月				

国際ロータリー第 2550 地区 6 月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	例回数	会 員 数								40歳未満	クラブ名	③ うち	⑤ うち今月退会した会員数	⑥ うち今月入会した新会員数	⑦ うち今月退会した会員数
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員						
第1グループ	大田原	4	29	24	0	2	1	6	-5	1	0	大田原		2		
	黒磯	4	36	33	0	3	1	4	-3	2	1	黒磯		3		
	西那須野	3	47	47	2	0	3	3	0	2	0	西那須野	2			
	黒羽	3	7	7	0	0	0	0	0	0	0	黒羽				
第2グループ	大田原中央	2	24	24	0	0	0	0	0	1	2	大田原中央				
	鳥山	3	17	15	0	1	0	2	-2	2	0	鳥山		1		
	氏家	5	24	23	0	0	0	1	-1	2	0	氏家				
	矢板	2	10	9	0	1	0	1	-1	1	0	矢板		1		
第3Aグループ	馬頭小川	5	21	21	0	0	0	0	0	0	0	馬頭小川				
	高根沢	3	15	14	0	0	0	1	-1	0	0	高根沢				
	宇都宮	4	101	105	3	2	14	10	4	2	1	宇都宮	3	2		1
	宇都宮西	4	75	68	1	6	2	9	-7	0	1	宇都宮西	1	6		
第3Bグループ	宇都宮北	5	43	41	0	1	1	3	-2	0	0	宇都宮北		1		
	宇都宮90	4	46	45	0	2	4	5	-1	5	3	宇都宮90		2		1
	(宇都宮90結・衛星)	1	6	5	0	0	0	1	-1	3	2	宇都宮90衛星				
	宇都宮陽北	4	46	46	0	1	1	1	0	9	5	宇都宮陽北		1		
第4グループ	宇都宮東	3	112	113	2	4	12	11	1	0	5	宇都宮東	2	4		
	宇都宮南	5	54	57	3	0	7	4	3	7	2	宇都宮南	3		1	
	宇都宮陽東	4	49	48	0	0	1	2	-1	8	1	宇都宮陽東				
	宇都宮陽南	4	24	23	0	1	1	2	-1	7	4	宇都宮陽南		1		
第5グループ	宇都宮さつき	3	25	26	0	1	2	1	1	4	3	宇都宮さつき		1		
	真岡	3	57	54	0	5	4	7	-3	0	0	真岡		5		
	益子	4	28	31	3	1	4	1	3	2	1	益子	3	1		
	真岡西	3	35	39	2	1	8	4	4	5	0	真岡西	2	1		
第6グループ	しもつけ	5	20	18	0	1	1	3	-2	3	1	しもつけ		1		
	小山	3	22	22	0	0	5	5	0	1	0	小山				
	小山南	4	15	14	0	0	0	1	-1	2	0	小山南				
	小山東	3	21	22	2	0	2	1	1	0	0	小山東	2			
第7グループ	小山北	4	24	23	0	1	1	2	-1	0	5	小山北		1		
	小山中央	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0	小山中央				
	栃木	5	46	48	0	0	4	2	2	5	0	栃木				
	栃木西	3	34	34	1	1	3	3	0	1	0	栃木西	1	1		
第8グループ	岩舟	3	11	10	0	0	0	1	-1	0	0	岩舟				
	壬生	4	20	17	0	3	0	3	-3	1	0	壬生		3		1
	栃木南	4	36	38	0	0	2	0	2	8	1	栃木南				
	日光	4	21	21	0	0	0	0	0	4	0	日光				
第9グループ	鹿沼	5	62	59	0	1	1	4	-3	2	2	鹿沼		1		
	今市	4	41	41	0	1	3	3	0	1	1	今市		1		
	鹿沼東	4	37	37	0	0	0	0	0	5	0	鹿沼東				
	鹿沼中央	2	17	17	0	0	0	0	0	2	0	鹿沼中央				
第10グループ	今市きぬ	3	27	27	0	0	2	2	0	0	0	今市きぬ				
	足利	2	21	23	0	1	6	4	2	1	1	足利		1		
	足利東	3	34	30	0	3	3	7	-4	2	0	足利東		3		1
	足利西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0	足利西				
第11グループ	足利わたらせ	4	35	35	0	0	0	0	0	0	0	足利わたらせ				
	佐野	3	55	55	0	1	2	2	0	0	0	佐野		1		
	葛生	4	39	36	0	0	3	6	-3	0	6	葛生				
	田沼	3	43	44	0	0	1	0	1	0	0	田沼				
第12グループ	佐野東	3	21	21	0	0	1	1	0	2	0	佐野東				
	48RC		1668	1645	19	45	106	129	-23	106	48	48RC	19	45	1	4



第44回 RYLA セミナー 受講生推薦のお願い

地域社会で活躍する青少年の育成を目的とし、次世代を担う若者たちのコミュニケーション能力と指導力の向上を求めて開催している『RYLA セミナー（ロータリー青少年指導者養成プログラム）』。今年度は“イマジンロータリー”をテーマに実施いたします。

各クラブの皆様には、是非とも RYLA セミナーへ受講者のご推薦を賜りますよう、ご協力をお願い申し上げます。
(RYLA 委員長 藤田 克彦)

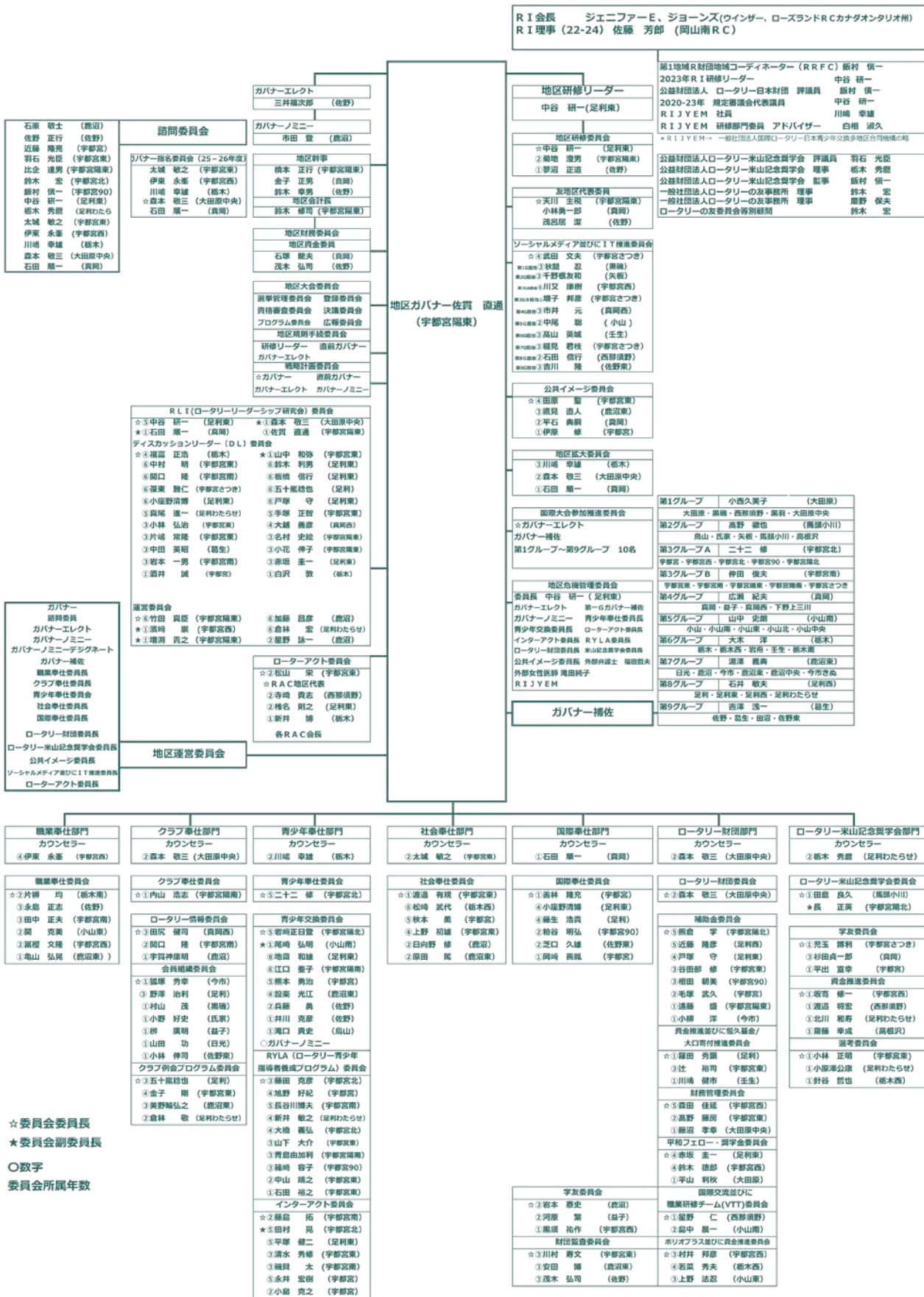
受講生募集要項

1. 日 時 2022 年 11 月 12 日（土）・13 日（日） 1 泊 2 日
2. 場 所 コンセーレ宇都宮 宇都宮市駒生 1-1-6
3. 内 容 次世代を担う青少年指導者養成セミナー
4. セミナー参加者
 - ①定員は 30 名（参加規定を満たす青少年）
 - ②各クラブは、優秀な学生及び社会人（18 才～ 30 才）をご推薦ください
 - ③ローターアクト提唱クラブは、ローターアクターを推薦してください
 - ④米山記念奨学会、または財団学友のホストクラブは奨学生や学友を推薦してください
5. 受講費用
一律 18,000 円（推薦クラブよりお振り込み下さい）
6. 申込み、問い合わせ
〒321-0945 宇都宮市宿郷 5-21-15 ベルヴィ宇都宮 RI2550 地区ガバナー事務所内
第 44 回 RYLA セミナー実行委員会 TEL：028-651-2550 FAX：028-651-2551
7. 受講申込締め切り 2022 年 9 月 20 日厳守



※定員以上の受講者申込があった場合、ガバナー・地区青少年奉仕委員長を含む RYLA セミナー実行委員会で選考審査を行いますので、あらかじめご了承ください。

2022-23年度 RID2550 地区組織図



Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2022年8月号 No.1

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター



『戦略計画立案の ワークショップをやってみましょう』

第3地域
ロータリーコーディネーター

滝澤 功治
(神戸須磨 RC)

ロータリーを進めていくには戦略計画が重要です。全世界で200を超える国・地域に展開するロータリーは異なる価値観を持つ多様な人々によって構成されています。このようなロータリーの今後の進むべき道筋を示すのがロータリーの戦略計画（行動計画）です。現在のロータリーの戦略計画は「行動計画」として4つの優先事項（①より大きなインパクトをもたらす、②参加者の基盤を広げる、③参加者の積極なかかわりを促す、④適応力を高める）が示されています。

2022年6月26日、第2730地区（鹿児島・宮崎）において、井福直前ガバナーの強いリーダーシップの下、クラブ活性化セミナーが開催されました。地区内から150人を超えるガバナー補佐や各クラブのリーダーが集まり、実際にクラブの戦略計画を作る「戦略計画ワークショップ」が行われました。今回のワークショップは、RIの「戦略計画立案ガイド」に沿って進められました。具体的な手順は次のとおりです。まずは「クラブの健康チェック」でクラブの現状（クラブの強みと弱み）を把握します。次いで「元気なクラブづくりのために／クラブリーダーシッププラン」や「会員の満足度アンケート」で会員のクラブに対する満足度や不満に感じていることを把握し、その結果をもとにクラブの「戦略的課題」は何かを確認します。そしてそのような課題を解決する具体的方法（道筋）を考えることによって、クラブの戦略計画が完成します（以上の資料はすべてMy ROTARYに戦略計画のリソースとしてアップされていますので、これを予めダウンロードして使用します）。第2730地区のワークショップでは、クラブリーダーらがそれぞれのクラブの抱える課題について終始熱心に議論しながら戦略計画の立案に取り組み、素晴らしい成果を挙げました。

終了後、「戦略計画」という名称についての質問がありました。この名称に違和感を覚えるということであれば、かつて使用していた「長期計画」でもよいし、「未来計画」でもよいと思います。大切なことはクラブの現状を把握し、課題を確認してその解決の方向性を示すことです。そして、クラブやそれを取り巻く地域の変化に応じて柔軟に修正することも重要です。

戦略計画を立て、それに沿って行動している地区とクラブは、戦略計画がない地区とクラブよりも柔軟に変化に対応できることが分かっています。また、戦略計画を立案すれば、現状分析を行い、課題を克服して目標達成に向けて長期的に取り組むことが可能となります。さらに、リーダーが年度ごとに交代しても、一貫性をもって地区とクラブを発展させることができます。

あなたのクラブは戦略計画（行動計画）を作っていますか。



『ロータリーの公共イメージの 重要性について』

第3地域

ロータリー公共イメージコーディネーター

丸尾 研一

(神戸西神 RC)

RI は戦略計画の中に「参加者の基盤を広げる」がありますが、まずはロータリーの認知度を高めなくてはならないと思いますがウルトラ C はない。先ず一人ひとりのロータリアンがロータリーの会合に行くときだけではなく、いつもロータリーバッジを身に着ける、奉仕活動、イベント等でロータリーグッズ（ポロシャツ等）を身に着ける、車にポリオのステッカーを貼る、ちなみに私の車にはポリオステッカーを貼っていますが、なかなか格好いいですよ、そしてもっと大切なのは、ロータリアン一人ひとりが情報を発信すること、私たちはロータリーについて説明するために、いろいろな情報を入手し、適切に説明できなければなりません、そして私たちがロータリーで経験した感動的な体験について話すことも大切です。普段からコツコツとロータリアンとクラブが、地道に奉仕活動が続け、認知してもらい、好意をもってもらい、そして今後に期待してもらう、この繰り返しはロータリーブランドの向上に繋がるものと確信しております。

第3地域では、ロータリーコーディネーター（RC）、ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）、ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）とそれぞれ3名の地域コーディネーター補佐で編成されていますので、是非ご活用いただければ幸いです。ロータリーは、世界中の地域社会でロータリーに対する認識を高めるために、歯車と Rotary の文字を並べて表示した新しい公式ロゴを作成しました。もっと多くの人にロータリーの活動を知ってもらうために、どんどんご利用ください、但しサイズとか色は事細かく決まっていますので My ROTARY 内のブランドリソースセンターを参照してください。私が入会したころは（1989年）「陰徳の美学」を教えられ、最初は どうして PR しないのか疑問に思っていたのですが、徐々に陰徳の美学に傾倒していった。そもそも広報ということをあまり考えてこなかった気がしますが、あらゆる情報が溢れている今の時代こそ広報が必要ではないでしょうか。

是非ロータリアン一人ひとりが強力な広報パーソンであるという自覚をもってもらい、各クラブで広報マインドを高めて奉仕活動の広報にチャレンジしましょう。

2025-26 年度 ガバナー候補者推薦について

ガバナー 佐貫 直通
ガバナー指名委員会委員長 森本 敬三

国際ロータリー細則第 12 条ガバナーの指名と選挙に従い、地区内の各クラブで 2025-26 年度ガバナー候補者を推薦することができます。2022 年 9 月 30 日までにガバナー指名委員会委員長宛、文書にて（書式任意）提出して下さい。

なお、推薦については、手続要覧の国際ロータリー細則第 16 条 16.010 ガバナーノミニの資格条件及び 16.020 ガバナーの資格条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナーノミニの選出を行うに際し、その選出の範囲は、国際ロータリー細則第 12 条 12.030.4 における規定に基づき地区内クラブによって推薦された氏名に限定されるものではありません。ご了承ください。

恒久基金 冠名基金へのご支援

基本的教育と識字率向上のための羅田秀顕基金設立

ありがとうございます

この度、足利ロータリークラブ所属・羅田秀顕（きぬたひであき）様より恒久基金 冠名基金（基本的教育と識字率向上）へのご支援を頂きました。地区ロータリー財団委員会として改めて御礼申し上げますとともに皆様にご報告申し上げます。

この羅田様の恒久基金への冠名寄付（25,000 \$）は、重点分野の 1 つ「基本的教育と識字率向上」のプログラムに収益の一部が投資され、元金が支出される事なく、プログラムを恒久的に支える事が出来る素晴らしい基金となります。

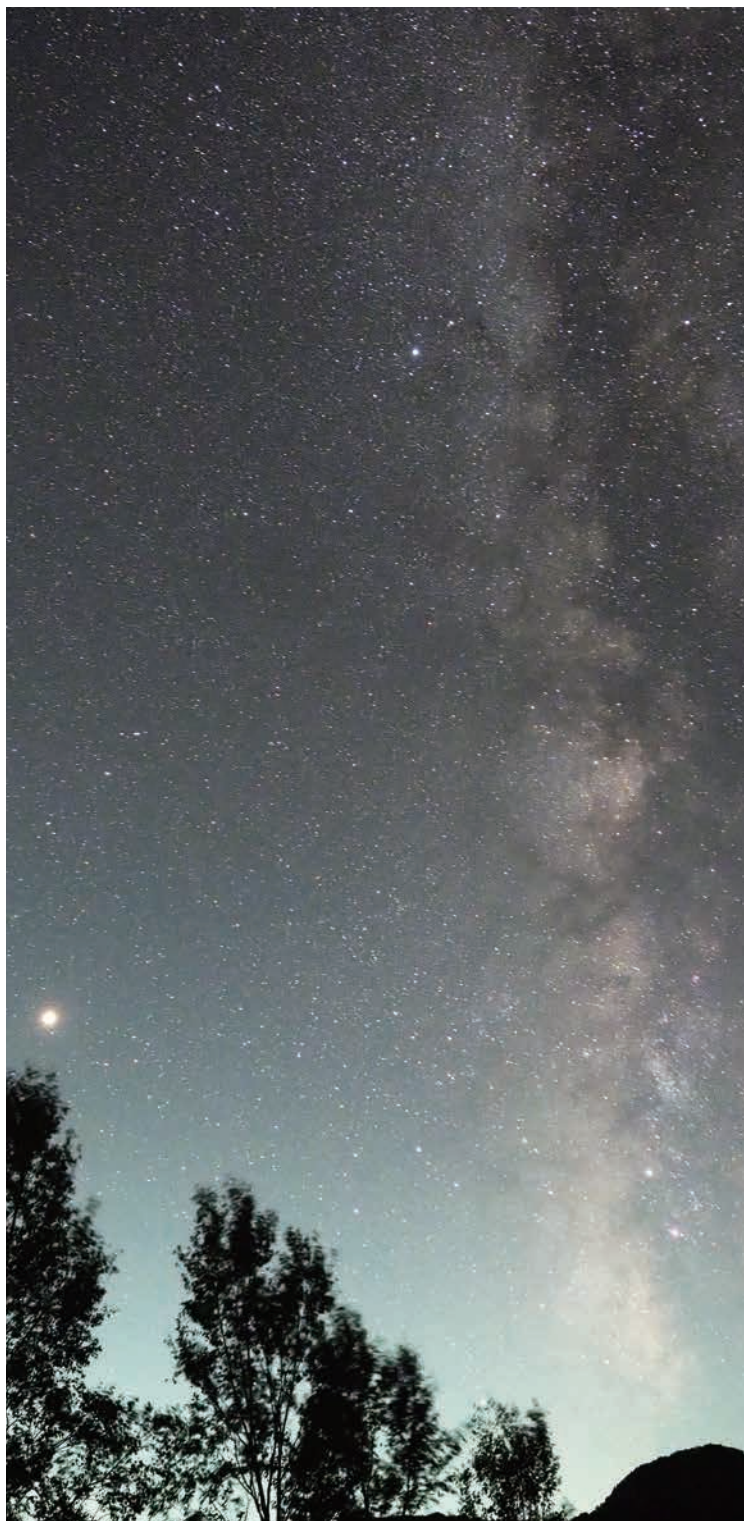
恒久基金に寄付される事で、ご寄付の価値は高まり、その投資収益によって地域社会の明日を支える事が出来ます。また、その冠名した基金に毎年上乗せして寄付をする事でその基金が大きく育っていくのも特徴です。

ロータリアンの皆様一人一人の思いをかたちに！ イマジン ロータリー

ロータリー財団部門
ロータリー財団委員会



写真撮影が趣味の佐賀ガバナー
次号から、季節に合わせた
栃木の美しい風景をご紹介します。



栃木 8月の空
Naomichi Sanuki